

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 7 月 3 日

評価対象事業		評価者	青少年課長	瀬谷 公重	
こども-27	実施事業	育成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	青少年課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援	

1 事業の目的

対象	青少年等
意図	地域社会における青少年等の健全育成のため、青少年の健全育成の指針となる基本理念・基本目標・取組方針の推進を図るため、青少年の非行・問題行動の早期発見とその指導を行うため。
効果	地域の青少年指導者として健全育成に関与するとともに、子ども達が様々な体験を通し心身ともに健やかに成長することを目指す。青少年が心身ともに健やかに成長し、個性豊かな人間形成を図り、自立できるよう、家庭・学校・地域を基盤とする良好な環境づくりを進める。青少年の非行・問題行動への取り組みを図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会、講演会を開催し青少年指導員としての活動内容の向上に努めた。</li> <li>・キャンプ等、小学生を対象とした各事業を実施した。</li> <li>・成人のつどいを実施した。</li> <li>・子ども・若者育成プランの推進を図る。</li> <li>・各中学校区を中心に市内をパトロールした。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日(住民基本台帳) ・事業の対象者7歳～20歳
事業の対象者数	20,868人		20,978人		21,080人		
運営資源状況	決算値(千円)	5,245	5,371	当初予算(千円)	6,306		
	国県支出金	328	334	国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	4,917	5,037	一般財源	6,306		
	人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.9		
	人件費(千円)	12,266	12,244	人件費(千円)	15,550		
事業経費運営	総事業費(千円)	17,511	17,615	総事業費(千円)	21,856		
	市民1人当りの経費(円)	99	100	市民1人当りの経費(円)	124		
	対象者1人当りの経費(円)	839	840	対象者1人当りの経費(円)	1,037		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 青少年指導員連絡協議会
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 平成27年度からはじめた青少年育成団体相互の連携も継続しつつ、平成28年度に改訂した「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の重点目標である「子ども・若者による社会参画の推進」として、平成29年度は、県立高等学校4校の軽音楽部による合同演奏会を生徒たちの企画・運営で実施する。
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・青少年の健全育成を図るため、地域や青少年団体との情報交換をしながら、更に連携を図っていく。 ・平成28年度に改訂した「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の重点目標の一つである「子ども・若者による社会参画の推進」を図るため、「(仮称)青少年フェスタ」を実施する。 予算規模は現状維持とした。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・平成28年度は、鎌倉市青少年指導員を中心とした「子どもキャンプ」や鎌倉市青少年育成街頭指導員等による「街頭指導・キャンペーン」などの取組みを通して、青少年の健全育成を図った。 ・青少年の居場所の一つとなるよう(仮称)青少年フェスタを実施する。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度に策定した「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の特に重要な取組について具体化していく。</li> <li>全市的に取り組んでいくために、各地域から青少年指導員を推薦していただいているが、欠員があるので、充足していく必要がある。</li> <li>平成28年度から「鎌倉市ひきこもりに関する連絡会」を設置し、4課で連携を図り、講演会やワークショップ等を開催し、「ひきこもり」について、青少年の健全育成事業等に関わっている青少年指導員や民生委員児童委員と意見交換をしたり、「ひきこもり」について検討していく。</li> </ul>	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の重点目標の「青少年の居場所づくり」の中で、「湘南・横浜若者サポートステーション」に来ている若者に玉縄青少年会館を利用してもらうため催し物のチラシを送付し周知した。</li> <li>青少年指導員の役割や意義を広く知ってもらうために、自治町内会の総会等で、青少年指導員の活動状況を周知した。</li> <li>行政の連携先団体等との意見交換会やワークショップ、講演会を開催し、「ひきこもり」の現状について周知に努めた。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き青少年指導員については、全市的に取り組んでいくために、各地域から推薦していただいているが、高齢化もあり、欠員が生じているという課題がある。</li> <li>行政と活動団体、地域等の理解や認識に温度差があるので、更なる啓発、連携が必要である。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	青少年指導員の数							
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	逗子市	葉山町			
他市実績	58	150	55	25	17			
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市の青少年指導員の推薦方法を確認したが、それぞれの市、町で推薦方法が違っていた。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	青少年指導員の数						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
地域における青少年を対象とした取組の指標となるため。	目標値	75	75	75	75	75	75				
	実績値	65	63	56	58						
	達成率	86.7%	84.0%	74.7%	77.3%						
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	青少年指導員の任期は、2年であるが、近年は、60歳を過ぎても引き続き就労する人が多く、青少年指導員活動をして下さる新規の人の推薦が難しくなっている。欠員のある地区については、引き続き、自治町内会長へ推薦者を出していたらよいをお願いをしていく。										